

参考文献

児童・生徒数推計(R15.1時点)

教育総務課による推計→社人研の人口推計を基に算出

小学校	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
生駒	585	599	613	663	711	740	728	716	703	691	678	666	656	645	635	624	614	609	605	600	596	591
生駒南	424	437	436	423	435	410	403	396	390	383	377	370	364	358	352	346	340	337	334	331	328	325
生駒北	157	147	151	144	147	140	134	132	130	128	126	124	122	120	118	116	114	113	112	110	109	108
生駒台	805	785	747	731	720	688	676	665	654	643	632	621	611	601	591	581	571	566	562	557	553	548
生駒東	586	572	538	535	494	466	457	450	443	435	428	421	414	407	400	393	386	383	380	376	373	370
真弓	642	640	630	583	544	491	482	474	467	459	452	444	437	429	422	414	407	404	400	397	393	390
俵口	481	510	529	555	567	568	558	549	540	530	521	512	504	496	487	479	471	467	463	460	456	452
鹿ノ台	608	609	578	587	554	530	520	512	503	495	486	478	470	463	455	448	440	436	433	429	426	422
桜ヶ丘	697	672	635	605	548	513	504	496	488	480	472	464	456	449	441	434	426	422	418	414	410	406
あすか野	989	998	1,002	969	926	876	861	848	834	821	807	794	781	768	754	741	728	722	716	710	704	698
壱分	744	744	750	755	762	730	718	706	694	683	671	659	648	638	627	617	606	601	596	591	586	581
生駒南第二	211	216	203	196	195	189	183	180	177	175	172	169	166	163	159	156	153	152	151	151	150	149
計	6,929	6,929	6,812	6,746	6,603	6,341	6,224	6,124	6,023	5,923	5,822	5,722	5,629	5,536	5,442	5,349	5,256	5,213	5,170	5,126	5,083	5,040

中学校	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22
生駒	568	541	536	506	514	493	487	481	476	470	465	459	450	442	433	425	416	411	405	400	394	389
生駒南	193	193	198	204	205	208	205	203	200	198	195	193	189	186	182	179	175	173	170	168	165	163
生駒北	93	87	74	74	61	71	68	67	67	66	66	65	64	63	61	60	59	58	57	57	56	55
緑ヶ丘	486	515	525	504	463	455	449	444	439	433	428	423	415	408	400	393	385	380	375	369	364	359
鹿ノ台	271	276	268	264	275	259	255	252	249	246	243	240	236	232	227	223	219	216	213	209	206	203
上	647	667	671	694	698	696	689	681	673	664	656	648	637	625	614	602	591	583	574	566	557	549
光明	400	408	426	388	378	344	339	335	331	328	324	320	314	308	302	296	290	286	282	279	275	271
大瀬	538	504	478	448	433	440	435	430	425	419	414	409	402	395	387	380	373	368	362	357	351	346
計	3,196	3,191	3,176	3,082	3,027	2,966	2,927	2,893	2,859	2,825	2,791	2,757	2,707	2,657	2,608	2,558	2,508	2,473	2,439	2,404	2,370	2,335

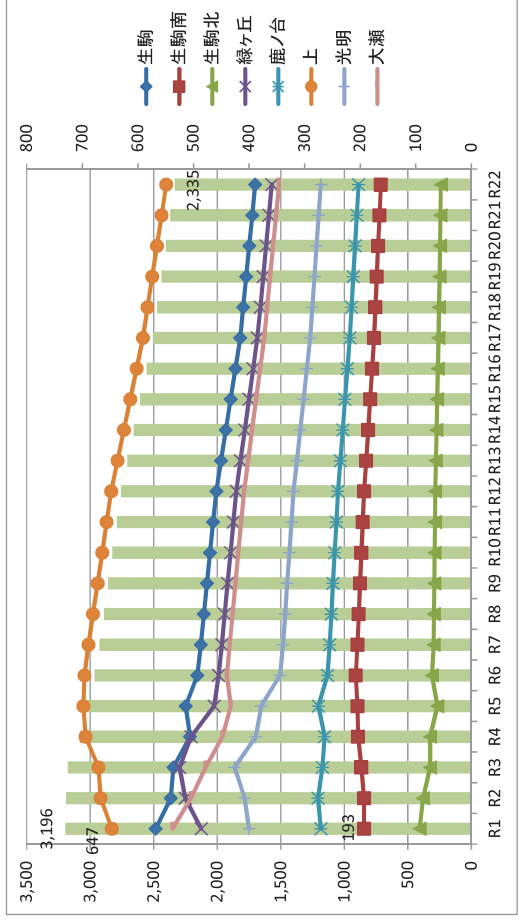
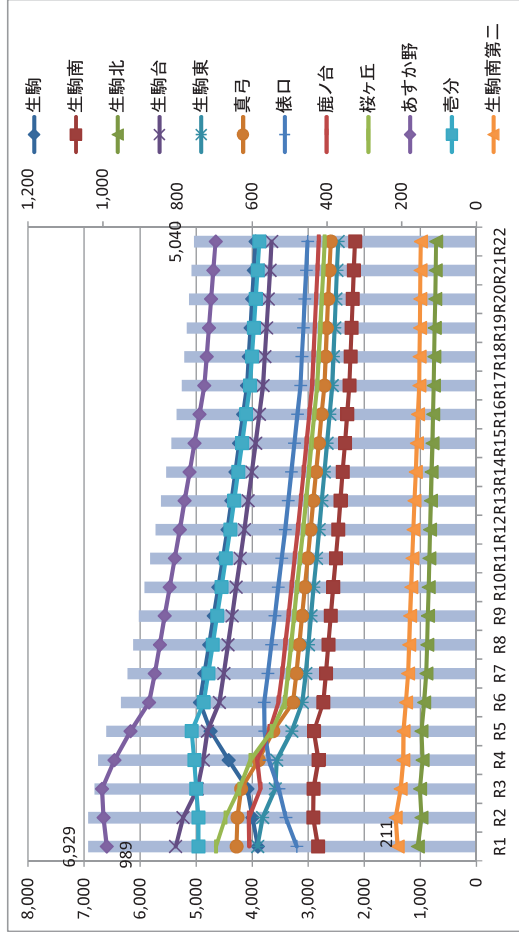
総合計	10,125	10,120	9,988	9,828	9,630	9,307	9,151	9,017	8,882	8,748	8,613	8,479	8,336	8,193	8,050	7,907	7,764	7,686	7,608	7,531	7,453	7,375
減少率	100.00%	99.95%	98.65%	97.07%	95.11%	91.92%	90.38%	89.05%	87.73%	86.40%	85.07%	83.74%	82.33%	80.92%	79.51%	78.09%	76.68%	75.91%	75.14%	74.38%	73.61%	72.84%

社人研の人口推計の方法

国立社会保険・人口問題研究所の『日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)』は、5年間隔となっていることから、まず2024年における推計人口を直線補間(2020-2025)により算出し、2024年を基準とした2025年～2045年の5年間隔の減少率を算出。そして、同推計は、5歳階級となっていることから、令和元年5月1日現在の児童・生徒数に当該減少率を乗じ、5年間隔の児童・生徒数を算出した上で、中間年については、前後の推計人口を直線補間で算出した。

2024年対増減率

	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
0～4歳	0.976066832	0.925716866	0.893203883	0.859787762	0.829081057
5～9歳	0.98800738	0.881180812	0.837269373	0.809409594	0.780627306
10～14歳	0.987459763	0.931198102	0.8318929	0.791560752	0.765802406
15～19歳	0.998511413	0.938471717	0.884551771	0.790274562	0.752232881



〈参考資料2〉

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書の附属エクセルソフトを活用した
今後の維持・更新コストの算出

1 学校施設の保有量

(1) 棟別施設概要

給食センターの施設概要を示す。

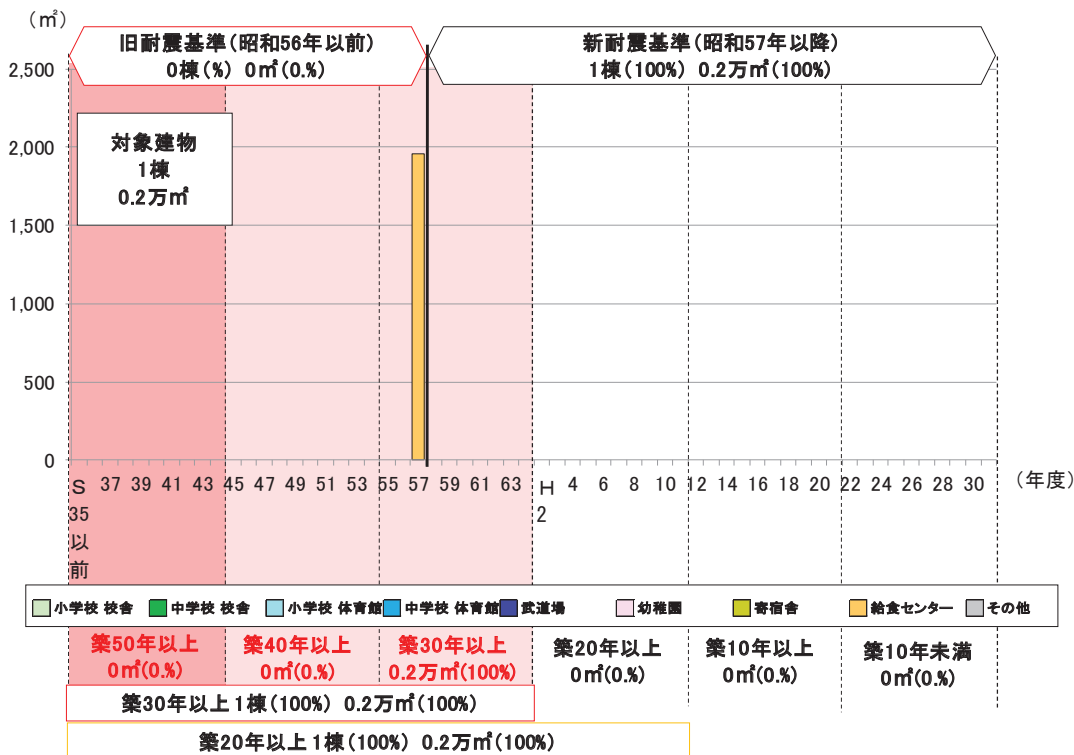
建物基本情報								構造躯体の健全性
施設名	建物名	構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性
					西暦	和暦		基準
生駒市立学校給食センター	本館	RC	2	1,957	1982	S57	37	新

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

(2) 年度別整備状況

給食センターの築年別整備状況を示す。

築年別整備状況



2 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書を参考に現地での目視調査等を実施し、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」「電気設備」「機械設備」の5つの部位に関してA～Dの4段階評価を棟ごとに行った。また、劣化状況評価の結果を踏まえ、対象施設の優先度を検討するために、部位ごとのA～D評価をもとに、健全度を算出した。

建物基本情報							劣化状況評価						
施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
					西暦	和暦							
生駒市立学校給食センター	本館	RC	2	1,957	1982	S57	37	C	B	B	B	B	72

A：概ね良好 **B**：部分的に劣化 **C**：広範囲に劣化 **D**：早急に対応する必要がある

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）の健全度の読み取り方（P.35）には、

- ・健全度40点未満なら優先的に長寿命化改修等の対策を講じることが望ましい。
- ・健全度の点数に関わらず、C、D評価の部位は、修繕・改修が必要

とあり、優先的に改修する建物の順位付けを行う際に参考にすることができる。

【劣化状況評価における評価基準の考え方】

劣化状況評価について、文部科学省の「解説書」では、A～D 評価の評価基準に関して、下記のように定めています。本計画では、基本的に、下記の評価基準に基づき評価を行うものとしませんが、内部仕上、電気設備、機械設備に関しては、現地での目視調査にて劣化等が見られた場合には、その結果も踏まえて評価するものとしします。

評価基準

目視による評価【屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

**経過年数による評価
【内部仕上、電気設備、
機械設備】**

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

【健全度の考え方】

◆健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定しています。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分		
1 屋根・屋上	C	40	5.1	×	204
2 外壁	D	10	17.2	×	172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	×	1,680
4 電気設備	A	100	8.0	×	800
5 機械設備	C	40	7.3	×	292
計					3,148
					÷ 60
健全度					52

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月）

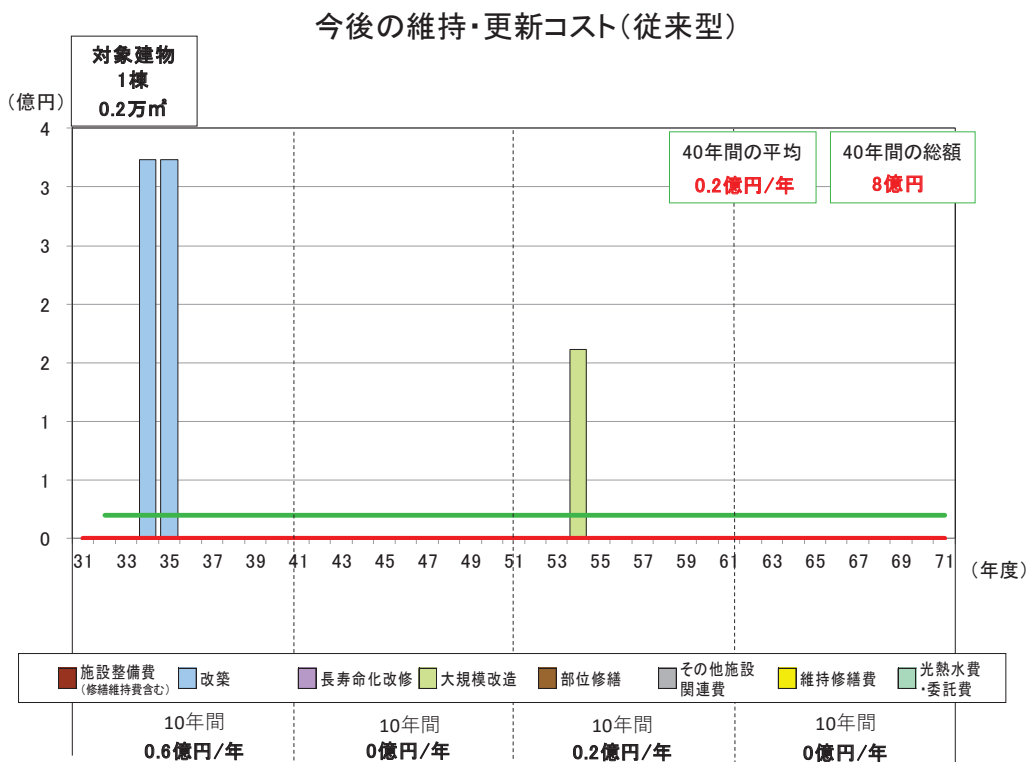
(2) 今後の維持・更新コスト

老朽化が進む施設を、今後も維持・更新していくためには、効率的かつ効果的な整備及び長寿命化を行う必要がある。

ここでは、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書を参考に、附属エクセルソフトを活用して今後40年間の維持・更新にかかる費用について、①従来型（事後保全型）と②長寿命化型（予防保全型）の2パターンを算出した。

① 従来型（事後保全型）

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書の附属エクセルソフトを活用し、従来型の事後保全的な修繕や改修を今後も続けた場合における今後の維持・更新コストを概算すると、今後40年間の更新費用総額は約8億円となった。1年あたりにすると約0.2億円/年となる。



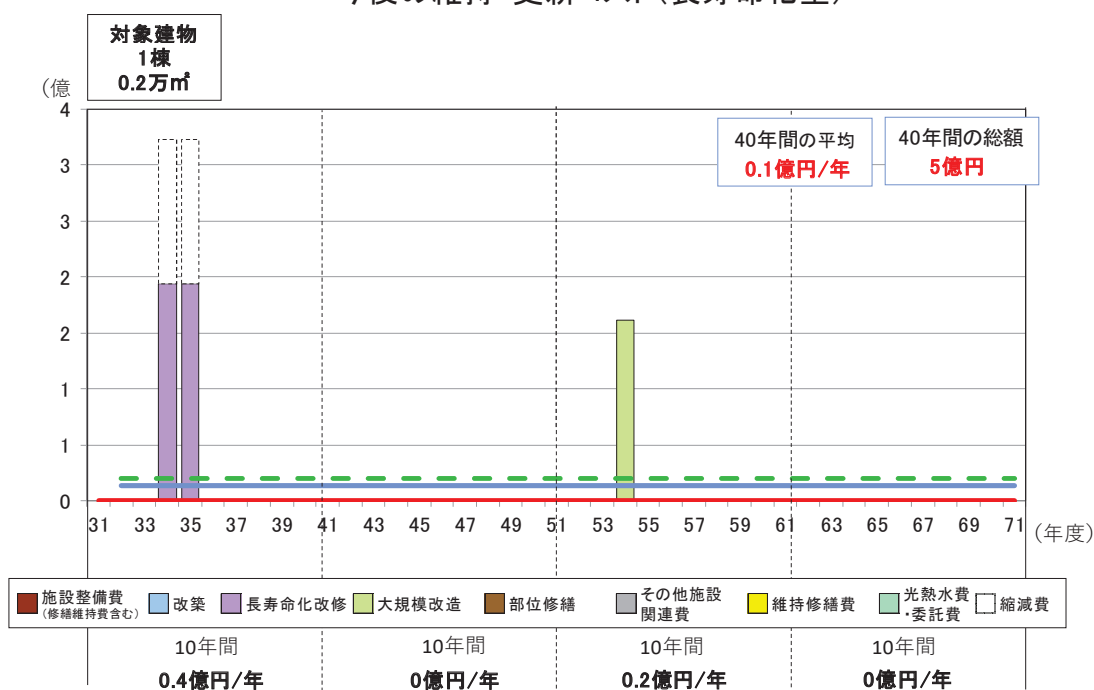
■費用試算【事後保全型】

・基準年度：2019年 ・試算期間：基準年度の翌年度から40年間	
【改築】 ・単価：330,000円/㎡ ・更新周期：40年 ・工事期間：2年 ※築40年以上の建物は10年以内に改築を実施する	【大規模改造】 ・単価：82,500円/㎡ (改築の25%。なお、体育館・武道館は22%) ・実施年数：20年周期 ・工事期間：1年

② 長寿命化型（予防保全型）

学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書の附属エクセルソフトを活用し、長寿命化型（予防保全型）の修繕や改修を行った場合における今後の維持・更新コストを概算すると、今後40年間の更新費用総額は約5億円となり、従来型と比較すると、約3億円の減額となった。1年あたりにすると約0.1億円/年となり、従来型と同程度となる。

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

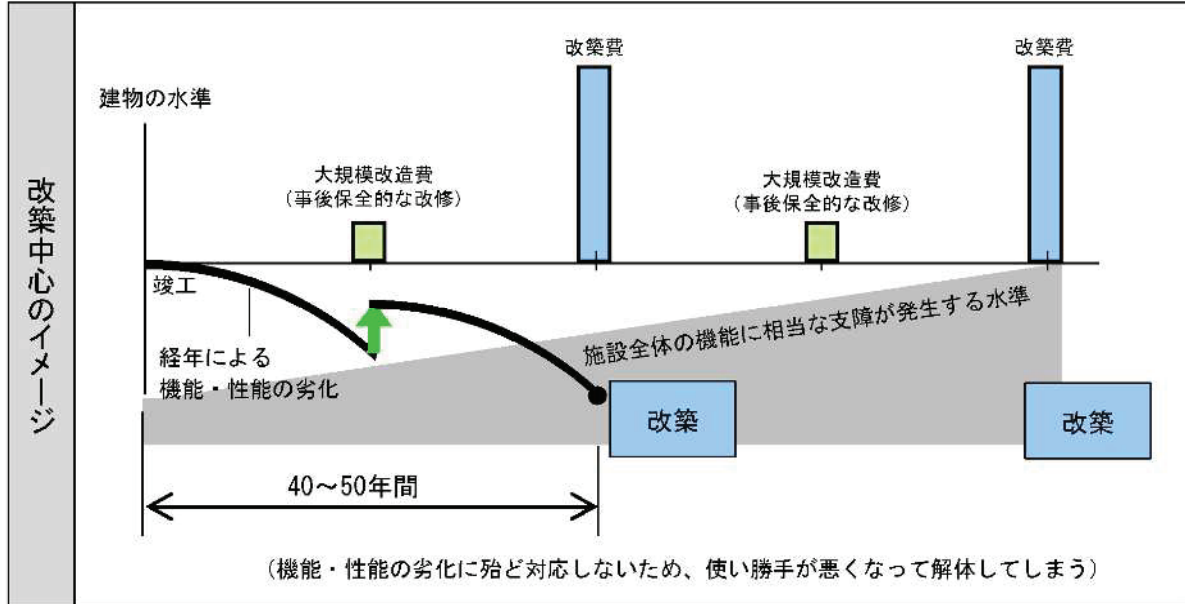


■コスト試算条件（長寿命化型）

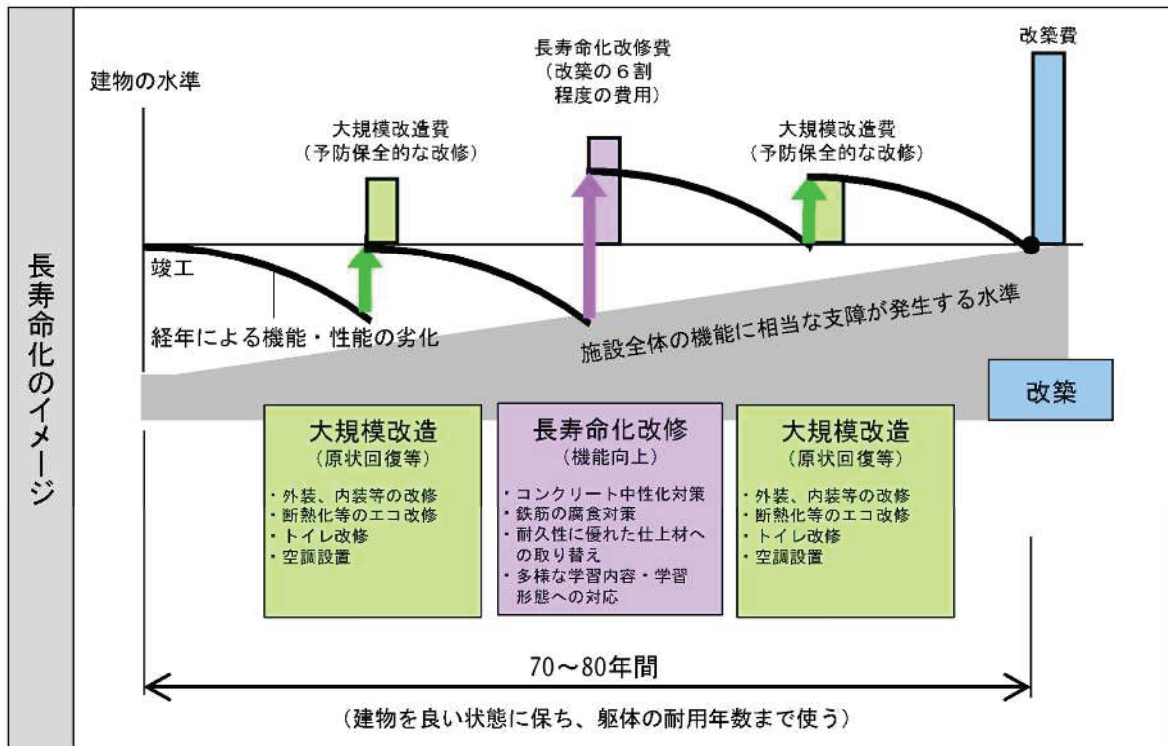
・基準年度：2019年 ・試算期間：基準年度の翌年度から40年間	
【改築】 ・単価：330,000円/㎡ ・更新周期：80年 ・工事期間：2年 ※築80年以上の建物は10年以内に改築を実施する	【長寿命化改修】 ・単価：198,000円/㎡（改築の60%） ・改修周期：40年 ・工事期間：2年 ※築40年以上の建物は10年以内に長寿命化改修を実施する
【大規模改造】 ・単価：82,500円/㎡ （改築の25%。なお、体育館・武道館は22%。） ・実施年数：20年周期 ※ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない	【部位修繕】 ・D評価：今後5年以内に部位修繕を実施 ・C評価：今後10年以内に部位修繕を実施 ※ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後10年間に実施する場合を除く ・A評価：今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

(参考)

【改築(建替え) 中心のイメージ】



【長寿命化改修中心のイメージ】



「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」より抜粋

〈参考資料3〉

学校給食保護者アンケート調査について

1 目的

教育委員会では、子どもたちが日ごろ食べている給食について、子どもたちの意見を聞き、今後の学校給食や食育に活かすため、またより安全でおいしい給食の提供と学校・保護者・市教委が連携した食育の推進を図るため、保護者の皆さんから現在の学校給食について、ご意見を伺うことといたしました。

2 対象

小学校・中学校全児童・生徒の保護者

3 調査項目（該当欄に○を記入してください）

(1) あなたの性別は。

男	女	その他

(2) あなたは、最近5年間で生駒市の学校給食を試食したことがありますか。

ある	ない

(3) (2)で「ある」を選んだ方にお聞きします。給食はおいしかったですか。

とてもおいしかった	おいしかった	あまりおいしくなかった	おいしくなかった

(4) あなたの家庭では、お子さんと給食のことを話題にしますか。

いつもする	時々する	あまりしない	まったくしない

(5) あなたのお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。

毎日食べる	ほとんど毎日食べる	週に2・3度食べる	まったく食べない

- (6) あなたが、家庭での毎日の食事で、子どもたちのために特に気をつけていることを次の項目から選んでください。(いくつ選んでも構いません。)

栄養バランスを考慮した食事	嫌いな食べ物をなくす
できるだけ家族そろって食事をする	インスタント食品や冷凍食品を控える
食事のマナー	安全・安心な食材や食品を選ぶ
生駒市産や奈良県産の食材を優先する	食事の用意や後片付けの手伝いをさせる
特にない	その他

- (7) あなたのお子さんは、食物アレルギーがありますか。

ある	ない

- (8) (7)で「ある」と回答した方にお聞きします。あなたのお子さんの食物アレルギーの原因は何ですか。(いくつ選んでも構いません)

たまご	小麦	えび	かに
そば	落花生(ピーナツ)	乳(牛乳等)	その他

- (9) 学校給食について、あなたが期待することは何ですか。(いくつ選んでも構いません。)

おいしさ	メニューの豊富さ	適度な分量
栄養バランスの良さ	安全・安心さ	給食費を安くおさえること
適温での配食	特にない	その他

(10) 生駒市の学校給食について、感想、要望、悩み、疑問等があればお書きください。

回答数	安全安心な給食を	メニューの改善を	もっとおいしい給食を
給食に感謝	量が少ない	給食おいしい	その他

(11) 最後の質問です。皆様から集めている学校給食費は、現在、食材の費用のみに使用され、施設設備費や人件費は含まれていませんが、あなたは、このことを知っていましたか。

知っていた	知らなかった

